

令和3年度 第2回事業評価監視委員会〔令和3年12月21日開催〕

【再評価】吉野川水系直轄砂防事業 資料-4-1(P12)の正誤表

○訂正前

9.今回事業評価について(1)

費用対効果の分析結果

吉野川水系直轄砂防事業(中期整備計画)

B/C 事業全体(整備期間:平成23年～令和22年) 1.3
残事業 (整備期間:令和4年～令和22年) 2.0

項目	細別		吉野川水系直轄砂防事業 (中期整備計画)	
			事業全体	残事業
総費用	事業費[現在価値化]	①	755.9億円	326.8億円
	維持管理費[現在価値化]	②	13.3億円	13.3億円
	総費用(C)	③=①+②	769.2億円	340.1億円
総便益	便益	④	975.5億円	683.1億円
	砂防施設の残存価値	⑤	9.6億円	8.5億円
	総便益(B)	⑥=④+⑤	985.1億円	691.6億円
費用便益比(CBR) B/C		⑥ / ③	1.3	2.0
純現在価値(NPV) B-C		⑥ - ③	215.9億円	351.4億円
経済的内部収益率(EIRR)			5.2%	9.5%

※ 総費用及び総便益は、基準年(令和3年)における現在価値化した数字である。

※ 総費用及び総便益は、令和2年4月に改定された「治水経済調査マニュアル(案)」等に基づいて算定。
(マニュアルの改定概要:水系被害額算定時の被害率の変更、被害算定項目の変更・追加など)

○訂正後 ※緑枠部分

9.今回事業評価について(1)

費用対効果の分析結果

吉野川水系直轄砂防事業(中期整備計画)

B/C 事業全体(整備期間:平成23年～令和22年) 1.3
残事業 (整備期間:令和4年～令和22年) 2.0

項目	細別		吉野川水系直轄砂防事業 (中期整備計画)	
			事業全体	残事業
総費用	事業費[現在価値化]	①	755.9億円	326.8億円
	維持管理費[現在価値化]	②	13.3億円	13.3億円
	総費用(C)	③=①+②	769.2億円	340.1億円
総便益	便益	④	975.1億円	683.1億円
	砂防施設の残存価値	⑤	9.6億円	8.5億円
	総便益(B)	⑥=④+⑤	984.8億円	691.6億円
費用便益比(CBR) B/C		⑥ / ③	1.3	2.0
純現在価値(NPV) B-C		⑥ - ③	215.5億円	351.4億円
経済的内部収益率(EIRR)			5.2%	9.5%

※ 総費用及び総便益は、基準年(令和3年)における現在価値化した数字である。

※ 総費用及び総便益は、令和2年4月に改定された「治水経済調査マニュアル(案)」等に基づいて算定。
(マニュアルの改定概要:水系被害額算定時の被害率の変更、被害算定項目の変更・追加など)